

案内

全国在宅療養支援診療所 連絡会 第2回全国大会

日時：2月14日(土)・15日(日)

会場：ステーションコンファレンス東京
(東京都千代田区)

テーマ：療養の個性とそれを支える在宅医療の多様性

プログラム：

2月14日

〈サピアホール 501〉「『類型の多様性』—強化型在宅療養支援診療所、在宅療養支援診療所、かかりつけ医、在宅支援病院」／「『地域と多様性』—離島、過疎地、被災地の在宅医療」

〈サブホール 503〉第5回東京都在宅医療推進フォーラム「在宅医療におけるマネジメントと質」公開講座①「多職種で支える在宅医療の質の担保と継続性」・②「グループ診療としての在宅医療の運営」

2月15日

〈サピアホール 501〉在宅支全国大会記念シンポジウム「日本の在宅医療」／ランチョンセミナー A「在宅での非がん疾患の医学的管理と緩和ケア」／「世界の在宅医療—イギリス GP、オランダ、ドイツ SAPV 各国の事情」

〈サブホール 503〉「適正化に向かう診療報酬制度」／ランチョンセミナー B「在宅医療をはじめよう！—在宅医療の質=理念×システム×制度の知識」／事前アンケートから出された課題に対するディスカッション」

対象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師など在宅医療に関心のある専門職ならびに市民

参加費：

(～2/6) 1万5000円

(2/7～) 1万8000円

懇親会 8000円別途

問い合わせ：事務局(新宿ヒロクリニックス内)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-3-11 杉本ビル3階

TEL：03-6279-0825(平日10:00～17:00)

FAX：03-6279-0835

E-mail：hcsn2015@hiro-clinic.com

http://zaitaikuiryo.or.jp/zaishiren2015/

案内

神戸市看護大学 第16回国際フォーラム

日時：2月21日(土)14:00～17:00

会場：大学利用施設 UNITY(ユニティ) セミナー室(4)(兵庫県神戸市)

講演：「認知症をもつ在宅高齢者と家族への支援のための協働：イギリスにおけるエビデンス」クレア・グッドマン(ハートフォードシャー大学ヘルス・ケア・リサーチ教授)

参加費(当日)：一般2000円、学生1000円

申し込み：往復ハガキ、またはEメールに「第16回国際フォーラム」と明記の上、①住所、②氏名(ふりがな)、③電話番号、④職種／学生の別を事務局へ(複数申し込みの場合は全員の氏名と職種／学生の別を明記)

申込締切：1月30日(金)

問い合わせ・申し込み：事務局

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学「第16回国際フォーラム」

TEL：078-794-8080(代)

FAX：078-794-8086(代)

E-mail：office@tr.kobe-ccn.ac.jp

http://www.kobe-ccn.ac.jp

案内

東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 看護キャリアパスウェイ 教育研究センター 第2回シンポジウム

日時：2月27日(金)13:00～16:30

会場：東京医科歯科大学 M & D タワー 2F 鈴木章夫記念講堂

テーマ：看護×教育×シミュレーション教育場面におけるファシリテーションとファシリテーターの育成

プログラム：看護系大学院生対象全国調査の結果報告／「米国における医療シミュレーション教育人材育成—振り返りを促す効果的なデブリーフィングとファシリテーター育成」Donna G. Patey (Kaiser Permanente, NCAL Risk & Patient Safety Clinical Practice Consultant)／「臨床実践のためのファシリテーター育

成と臨床教育プログラム」織井優貴子(青森県立保健大学健康科学部看護学科)、孫大輔(東京大学医学系研究科医学教育国際研究センター)

定員：150名程度(先着順)

参加費：3000円(資料代、同時通訳ヘッドセットつき、事前払込)

申し込み・詳細：http://kokucheese.com/event/index/238176/

または、右のQRコードより

案内

第29回日本がん看護学会 学術集会

日時：2月28日(土)・3月1日(日)

会場：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

テーマ：先人(せんじん)に学びがん看護の先を読む

プログラム：

2月28日

会長講演「先人に学びがん看護の先を読む」渡邊眞理(神奈川県立がんセンター副院長兼看護局長)／特別講演1「日本人の生と死のかたち—過去から未来へ」波平恵美子(お茶の水女子大学名誉教授)・2「日本がん看護学会創立30周年に向けて“がん看護の力—Power of Nursing”を考える」小松浩子(日本がん看護学会理事長、慶應義塾大学看護医療学部教授)／「がん体験者の“生きる”を支える看護」高橋都(国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ支援研究部長)、竹之内直子(神奈川県立こども医療センター小児看護専門看護師)、品田雄市(東京医科大学病院医療ソーシャルワーカー)、近藤まゆみ(北里大学病院がん看護専門看護師)／教育講演1「がん医療における意思決定—サイコロロジーの立場から」小川朝生(国立がん研究センター東病院精神腫瘍科科長)・2「ITを活かしたこれからの支援」—厳しい現場でも学術研究を可能にするICTパワー」杉浦伸一(名古屋大学大学院医学系研究科特任研究部門医療行政学特任准教授)／懇親会*

3月1日

特別講演3「看護のアートに生きる日本文化」川嶋みどり(健和会臨床看護学研究所所長、日本赤十字看護大学名誉教授)／パネルディスカッション「進行がん患者

が「その人らしく生き抜く」を支える一地域で支える仕組みとスキル」若尾文彦(国立がん研究センターがん対策情報センターセンター長)、横川史穂子(長野市民病院緩和ケア認定看護師)、栗原美穂子(鶴見区医師会在宅部門総括責任者)、緒方真子(神奈川県立がんセンター患者会「コスモス」世話人代表)／教育講演3「今だからこそ“ケアリング溢れるがん看護”——ニューマン理論に基づくケアリング・パートナーシップの実践」遠藤恵美子(武蔵野大学看護学部特任教授)・4「がん登録から視るこれからのがん医療」岡本直幸(元神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部長、地域がん登録全国協議会名誉会員(元理事長))・5「放射線治療と看護の専門性」中山優子(神奈川県立がんセンター放射線腫瘍科部長)、北田陽子(群馬大学医学部附属病院重粒子線医学センターがん看護専門看護師)

*懇親会(インターコンチネンタルホテル3階パシフィック、会費6000円)

事務局：神奈川県立がんセンター

〒241-8515 横浜市旭区中尾2-3-2

問い合わせ：運営事務局

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-4-8
日栄ビル703A あゆみコーポレーション内

TEL：06-6441-5260

FAX：06-6441-2055

E-mail：jscn29@a-youme.jp

http://jscn29.umin.jp/

案内

ファビエンヌ・ブルジェール &ギヨーム・ルブラン講演

日時：3月19日(木)18:30～20:30

会場：アンスティチュ・フランセ東京エスパス・イマージュ(東京都新宿区)

講演：「ケア」の社会は個人を基軸とする社会と両立するか？

講師：ファビエンヌ・ブルジェール(パリ第8大学哲学教授)／ギヨーム・ルブラン(ボルドー・モンテニユ大学哲学教授)

※日本語同時通訳付き

参加費：無料

問い合わせ：03-5206-2500(アンスティチュ・フランセ東京)

案内

第41回日本保健医療 社会学会大会

日時：5月16日(土)・17日(日)

会場：首都大学東京荒川キャンパス(東京都荒川区)

テーマ：生活モデルへの転換

プログラム：シンポジウム「この20年で医療はどう変化したか?—生活モデル／セルフケア／自己決定」猪飼周平(一橋大学)・「病院の世紀から地域包括ケアの時代へ」松繁卓哉(国立保健医療科学院)・「患者中心／セルフケアとは何だったのか」田代志門(昭和大学)・「死にゆく人々へのケアはどう変化したか」コメンテーター：美馬達哉(京都大学)、戸ケ里泰典(放送大学)、司会：吉田澄恵(東京女子医科大学)／教育講演「人工呼吸器からみえる医療／家庭／社会」大森健(IMI 首都圏ブロック)、司会：鷹田佳典(早稲田大学)／ラウンドテーブルディスカッション
参加費(当日)：会員6000円、非会員7000円、学生会員4000円、学生非会員5000円

※事前申込(～4/13)は各1000円引き

詳細：ウェブサイト(<http://square.umin.ac.jp/medsocio/conf2015>)参照

問い合わせ：首都大学東京大学院看護科学域清水準一(副大会長)

TEL & FAX：03-3819-7267

E-mail：jshimizu@tmu.ac.jp

<http://square.umin.ac.jp/medsocio/conf2015>

案内

第16回日本赤十字看護 学会学術集会

日時：6月27日(土)・28日(日)

会場：日本赤十字看護大学(東京都渋谷区)

テーマ：赤十字の「しなやかな強さ」——一人ひとりを大切に生活ケアのデザイン

プログラム：会長講演「看護実践批評の試み—しなやかな強さの探求に向けて」高田早苗(日本赤十字看護大学学長)／教育講演「当事者とともに歩む、これからの専門家ケアのかたち」猪飼周平(一橋大学教授)／特別講演兼市民講座「明けない

夜はない—住民の生活再建を願って」馬場有(福島県浪江町長)／シンポジウム「ケア共同体を生み出す、運動体としての赤十字」惣万佳代子(NPO法人「このゆびと一まれ」代表)、村松静子(在宅看護研究センターLLP代表)、浦田喜久子(日本赤十字九州国際看護大学学長)

問い合わせ：事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

日本赤十字看護大学内

FAX：03-3409-0589

E-mail：jrcsn@redcross.ac.jp

<http://www.jrcsn16.jp>

案内

第20回日本在宅ケア 学会学術集会

日時：7月18日(土)・19日(日)

会場：一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)

テーマ：学会設立20年「在宅ケア学」の確立をめざして

プログラム：

7月18日

学術集会長講演「『在宅ケア学』の確立をめざして—教育、研究、実践の循環」亀井智子(聖路加国際大学看護学部教授)／教育講演1「在宅ケアの実践、教育、研究から政策へ」内田恵美子(日本在宅ケア教育研究所)／シンポジウムI「在宅ケア学の現在、過去、未来」島内節(広島文化学園大学看護学部)、白澤政和(桜美林大学大学院老年学研究科)、長江弘子(千葉大学大学院看護学研究科)、黒田研二(関西大学人間健康学部)、亀井智子／市民公開講座「地域包括ケアの使い方、活かし方—大田区見守りネットワークを例に」澤登久雄(入新井地域包括支援センター)／指定交流会1「地域の子どもと高齢者のつながりをつくる『世代間交流看護支援』の創出」糸井和佳(帝京科学大学医療科学部看護学科)企画・2「訪問看護師の教育と在宅ケア」山田雅子(聖路加国際大学看護学部)企画／ランチョンセミナー1「在宅ケアとストマ管理(仮)」講師未定・2「在宅ケアと心不全管理(仮)」西畑庸介(聖路加国際病院心血管センター循環器内科)

7月19日

教育講演2「在宅ケアと研究法—混合研

INFORMATION

憲法への招待」マイケル・フェターズ(ミシガン大学家庭医プログラム)／シンポジウムⅡ「地域包括ケア時代の多職種連携」上 加世田豊美(千葉県こども病院看護師), 川越正平(あおぞら診療所医師), 吉田千晴(中央区京橋おとしより相談センター社会福祉士), 江頭文江(地域栄養ケア PEACH 厚木管理栄養士), 谷口由紀子(きりん会若葉訪問看護ステーション訪問看護師)／指定交流集会3「在宅ケアとエンド・オブ・ライフ」長江弘子(千葉大学大学院看護学研究科)企画／ランチョンセミナー「在宅ケアと認知症ケア(仮)」遠藤英俊(国立長寿医療研究センター)

参加費：

(～5/29) 会員 9000 円, 非会員 1 万 1000 円

(5/30 ～) 会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円

学生 4000 円, 懇親会費 6000 円

問い合わせ：

〈大学事務局〉

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学看護学部老年看護学

E-mail : jahc20@slcn.ac.jp

〈運営事務局〉

東京プランニングセンター(西垣外(にし

がいと), 田中, 赤井)

TEL : 03-3815-2345

FAX : 03-3815-7716

E-mail : 2015zcare@tpl.jp

<http://www.jahhc.com>

案内

山路ふみ子専門看護教育 研究助成基金 第 25 回(平成 27 年度) 研究助成候補者募集

研究助成の主旨：看護学の諸分野の研究に対する助成を行ない、もってわが国の看護の質的向上を通じ、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とします。特に、看護実践の科学的根拠の確立、および看護方法・看護システムの開発と評価に資する研究を助成します。今年度は、先端科学技術や周辺科学の知と看護学諸分野とを繋ぐ創造的研究を期待しています

助成金交付予定額：1 件 150 万円以内・約 20 人(使用期限／使用内訳制限あり)

応募資格：次のすべての条件を満たす者
(1) 日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師, (2) 国内又は国外の大学院博士後期課程または 5 年一貫

博士課程の正規生, もしくは博士後期課程修了後の研究生(いわゆるポストドク)として在学中で、看護学の諸分野を研究中の者, (3) 学識、人物ともに優秀でかつ健康であって、将来看護職の教育、指導又は看護研究に携わると認められる者, (4) これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者。なお、給与収入がある者、大学院博士課程 1 年生, 5 年一貫博士課程 1, 2 年生は、原則として応募資格を有しない

応募方法：所定の申込書、推薦書による
申請締切：3 月 31 日(火)必着

審査結果通知：5 月中旬頃

助成金交付期日：6 月下旬

詳細：井住友信託銀行ホームページ参照

問い合わせ：三井住友信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金申請口

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

TEL : 03-5232-8910 (平日 9:00 ～ 17:00)

FAX : 03-5232-8919

<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>